

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	柔道整復学総合2	講義	4	80	基礎/臨床柔道整復学 柔道整復実技 解剖学/生理学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科3年	中川裕貴	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>柔道整復師の業務範囲である「外傷」についての学習と同時に、「外傷における組織学的変化」と「外傷の治癒機序理解」にとって必要な解剖学的知識に基づいて「合併症とその影響」について学びます。「柔道整復師として外傷の治癒機序・治癒経過・合併症等について基礎医学観点から考察できる」ことを最終目標とします。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>1年生・2年生で学習した「専門基礎分野(人体構造と機能)の知識」と「専門分野(基礎・臨床柔道整復学)の知識」の相互を理解することで応用できるように学習を進めましょう。</p>					
教科書・参考書					
<p>公益社団法人全国柔道整復学校協会監修 「柔道整復学・理論編(改訂第6版)」「解剖学(改訂第2版)」</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合的な知識が必要となる為、1, 2年生で学んだ、基礎医学分野の復習を行いましょ。 ● プリント等の再配布は原則として行わない。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	定期試験(前期試験・後期試験)により評価する。			
その他	20	授業内で中間試験・小テスト等を行い、各期末試験の部分配点とすることがある。 ※実施の場合は事前通知する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1	4/8	柔道整復学における人体解剖概説①		/	
2	4/15	柔道整復学における人体解剖概説②		/	
3	4/22	柔道整復学における人体解剖概説③		/	
4	5/6	柔道整復学における人体解剖概説④		/	
5	5/13	外傷による運動器の損傷①		/	
6	5/20	外傷による運動器の損傷②		/	
7	6/3	外傷による運動器の損傷③		/	
8	6/10	外傷による運動器の損傷④		/	
9	6/17	外傷による運動器の損傷⑤		/	
10	6/24	外傷による運動器の損傷⑥		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11	7/1	外傷による運動器の損傷⑦		/	
12	7/8	外傷による運動器の損傷⑧		/	
13	7/15	柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症①		/	
14	7/22	柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症②		/	
15	7/29	柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症③		/	
16	8/5	柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症④		/	
17	9/9	柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症⑤		/	
18	9/16	前期定期試験		/	
19	9/28	前期定期試験解説 柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症⑥		/	
20	9/30	柔道整復学における 脈管系の損傷・合併症⑦		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21	10/5	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症①		/	
22	10/7	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症②		/	
23	10/12	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症③		/	
24	10/14	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症④		/	
25	10/19	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症⑤		/	
26	10/21	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症⑥		/	
27	10/26	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症⑦		/	
28	10/28	柔道整復学における 内蔵系の損傷・合併症⑧		/	
29	11/2	柔道整復学における 神経系疾患・合併症①		/	
30	11/4	柔道整復学における 神経系疾患・合併症②		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31	11/9	柔道整復学における 神経系疾患・合併症③		/	
32	11/11	柔道整復学における 神経系疾患・合併症④		/	
33	11/16	柔道整復学における 神経系疾患・合併症⑤		/	
34	11/18	柔道整復学における 神経系疾患・合併症⑥		/	
35	11/25	柔道整復学における 神経系疾患・合併症⑦		/	
36	11/30	柔道整復学における 神経系疾患・合併症⑧		/	
37	12/2	柔道整復学における感覚器①		/	
38	12/7	柔道整復学における感覚器②		/	
39	12/9	後期定期試験		/	
40	12/16	後期定期試験解説		/	